

うわじま 牛鬼 うしおに

市立宇和島病院の理念

- 一、信頼される病院
- 二、思いやりのある病院
- 三、やすらぎのある病院
- 四、進化しつづける病院
- 五、地域になくてはならない病院
をつくります。

市立宇和島病院の基本方針

- 1、いつでも、どんな病気にも、高度医療を提供する病院をめざします。
- 2、患者さまの権利を尊重し、愛情と対話をもってあたたかい医療を提供する病院をめざします。
- 3、快適な医療環境をととのえ、明るくやるいのある病院をめざします。
- 4、高い技術を持ち、人間性豊かな医療人の育成につとめる病院をめざします。
- 5、医療・保健・福祉との連携を深め、地域で完結する医療に貢献する病院をめざします。



市立宇和島病院ホームページ
<http://www.uwajima-mh.jp>

患者さまの権利

1. 良質で適切な医療を平等に受けることができます。
2. 自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
3. 医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意思に基づき医療行為を選択あるいは断ることができます。
4. 主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求める場合は、セカンドオピニオンを利用することができます。
5. 自分の医療に関する記録などの情報について、開示を求めるることができます。
6. 個人のプライバシーは保護され、いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
7. 患者さまの診療・治療について当院の教育・研究にご協力をお願いする場合がありますが、これを断ることができます。
8. 病院に対し種々の提言をすることができます。

愛媛県におけるドクターへリ 運用開始について

南予救命救急センター長兼呼吸器外科科長 根津 賢司

2017年2月1日から愛媛県ドクターへリの運航が開始となりました。ドクターへリが日本に初めて正式に配備されたのは2001年4月のことです。2017年3月現在では全国41道府県に51機のドクターへリが配備されていますが、現在の日本の状況としては、各都道府県に少なくとも1機、広い県では複数機、さらに山間部やへき地、離島などを考慮すると80機くらいが望ましいと考えられています。

ドクターへリとは、患者モニターや人工呼吸器など救急医療に必要な医療機器を装備し医薬品を搭載したヘリコプターを使い、病院の敷地内に待機した医師と看護師が出動要請から速やかに離陸し、救急現場へ急ぎます。そして現場でがんや急病人を治療するとともに、病状に適した医療施設へ患者さんを搬送するシステムです。【空飛ぶ救命室】とも呼ばれ、医師、看護師などの医療スタッフをいち早く救急現場に送り込むことによるより早い医療の介入が重要な役割といえます。

このドクターへリにより生命の危険がある患者さんに救急現場などの初期対応、初期治療が始まられるとともに、速やかな医療機関への搬送が可能となり、救命率の向上だけでなく後遺症の軽減などの効果も期待されています。

愛媛県におけるドクターへリの運航方法は現在2つの出動方式が併用されています。1つは松山空港に搭乗医師、看護師が待機し、松山空港から出動する方法。もう1つは朝、松山空港から県立中央病院屋上ヘリポートにドクターへリを移動し、同病院から医師、看護師とともに出動する方法です。

現在、愛媛県に導入されたドクターへリは基本的にフライドクター、フライナース、操縦士、整備士の4名が搭乗して出動します。また、患者さんを最大2名まで搬送することができます。ドクターへリの着陸ポイントは、原則として、ヘリポート及びあらかじめ設定したランデブーポイント（学校・公園等愛媛県内には274カ所設定）に着陸します。

ただし、患者さんの容体によっては救急現場近くの安全が確保された場所に着陸することもあります。出動可能時間は原則として8時30分～17時15分（日没前）となっています（有視界飛行）。

愛媛県においては、このドクターへリの導入により県内全域を概ね30分以内でカバーできることとなります。救急車などによる対応に比べ、初期治療の迅速化や搬送時間の短縮化が期待できます。

当院は屋上にヘリポートを設置し、南予救命救急センターも併設しており、南予地域におけるドクターへリ対応患者の受け入れがあることからシミュレーション訓練などに努めています。特に島々や半島、山間部も多いこの南予地域においてもドクターへリは大きな活躍が期待でき、南予地域における更なる救急医療提供体制の充実・強化に繋がることを期待しています。



● シリーズ看護部だより

3年目看護師のある1日をご紹介します。

現場密着！ ナースのお仕事

8:30

申し送り

勤務の交替のために、前の勤務者から患者さまの状態を引き継ぎます。



9:15

診察介助

術後などの患者さまの状態を見るために、毎日診察があります。診察がスムーズに行えるように介助します。



10:00

清拭

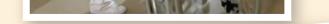
術後や状態がよくなくシャワーに入ることのできない患者さまは、身体を拭いて清潔を保ちます。



11:00

トイレ介助

移動に介助が必要な患者さまをトイレに誘導し、衣服の上げ下ろしの手伝いなどを行います。



12:00

食事介助

自力で食事摂取ができない患者さまには食事の介助を行います。



12:30

先輩たちと
楽しくランチ！

13:30



お昼休憩

患者さまとのコミュニケーションはもちろん、スタッフ間でのコミュニケーションを密にすることも大切です。



14:30

巡回

患者さまの状態の変化がないかバイタルサイン測定を行ったり、お話を聞いてケアを行います。



15:30

点滴準備

患者さまと薬剤が合っているか確認し、セットを準備して交換を行います。



16:00

検査出し

検査の予定が入っている患者さまを検査室にお連れします。



16:30

記録

患者さまの状態、ケアなど行ったことをカルテに記入します。



17:00

申し送り

受け持ちは患者さまに行ったことや状態を次の勤務者に引き継ぎを行います。



シリーズ各科紹介

放射線科 放射線科主任科長 福井 聰

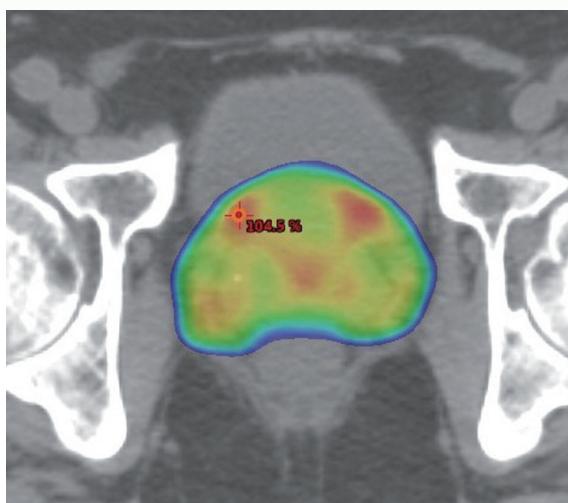
放射線科は単純X線写真、CT、MRIなどを読影してレポートする画像診断、放射性同位元素を用いる核医学、血管造影技術などを用いて治療を行うIVR、放射線を照射して癌を治療する放射線治療と大変幅広い領域をカバーしています。

現在医師は6名です。うち3名は放射線診断専門医、2名は放射線治療専門医です。また、重複していますが2名は核医学専門医も取得しています。

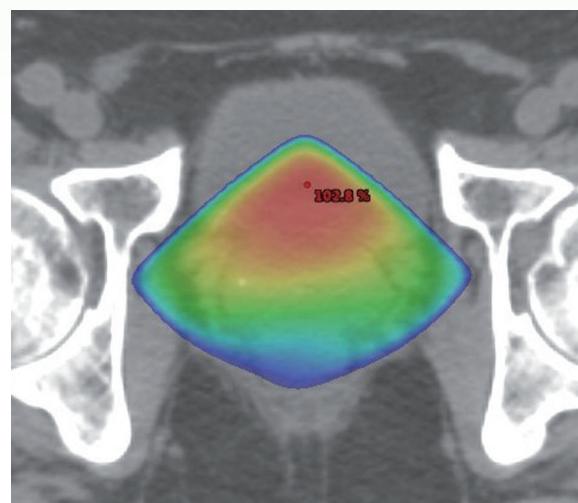
当院は大変忙しい病院で、特に画像診断部門は症例数が多く、直ちにレポートを要する至急読影も過半数を超えてます。また救急患者も多く、夜間、休日にも多数の画像が発生します。遅滞なくレポートを届けるため休日にも可能な限り読影を行っています。

放射線治療部門については13年ぶりに放射線治療機械が更新となり去年の2月から新しい機械が稼働を始めました。8月からは放射線治療医も2名となり最新の治療技術である強度変調放射線治療を始めています。これは正常組織の放射線量を抑えながらターゲットに十分な放射線を照射する技術です。最も普及している前立腺癌についていと、前立腺の背側には隣接して直腸が存在します。そこで通常の治療計画では直腸の放射線量を気にして72グレイ程度の放射線を照射していました。これに対して強度変調放射線治療では直腸を避けながら78グレイ程度まで照射が可能となります。当院では前立腺癌や頭頸部癌を始め、脳腫瘍、食道癌、肺癌、肝臓癌、直腸癌などにも適応を広げています。

今年度中には2台あるCTのうち、16列CTが更新となり最新のCTが導入される予定です。放射線科はコンピューター技術の発展とともに機器や技術の進歩の著しい領域ですが、それらに遅れることなく日々精進して行きたいと思っています。



通常照射



強度変調放射線治療の線量分布。
右では直腸側の線量を低減できています。

救急看護認定看護師 河野 泉

私は、HCUに配属となった時に救急外来業務を経験し、“その時が勝負”である初療に、とてもやり甲斐を感じました。一念発起して2011年に救急看護認定看護師資格を取得し、現在は部門として独立した救急外来で勤務しています。患者様やご家族が救急外来で過ごす時間は、闘病生活におけるほんの一瞬のことかもしれませんのが、苦痛や不安を抱える患者様やご家族がホッとできる瞬間を感じられるような対応を心掛けています。

救急外来の質を上げていくために、毎年、スタッフと

一緒に課題を決めて取り組んでいます。これまでに、ガイドラインに基づいた一次・二次救命処置、外傷初期看護、院内トリアージ等の勉強会を重ねてきました。自分自身のスキルアップとしては、学会（救急看護学会・臨床救急医学会・救急医学会など）や関連研修会への参加、ライフサポートコース（AHA-BLS、ICLS、ISLS、AMLS、MCLS）やトリアージナース育成研修会のスタッフ参加などを行っています。

まだまだ充足感はありません。コツコツと成果を積み重ね、本物の認定看護師に成長していきたいと思っています。

市立宇和島病院イベント情報

当院では、地域に根差した活動の一環として、各種イベントを開催しています。

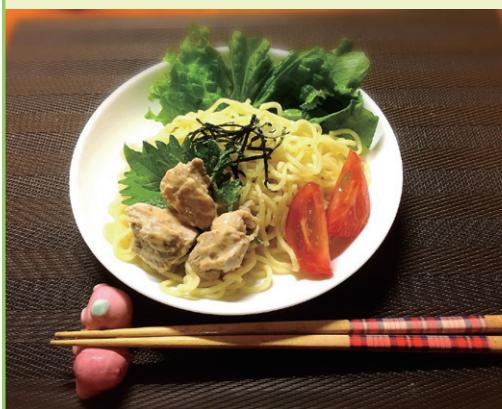
平成29年度イベント一覧(予定)

- 7月22~24日／うわじま牛鬼まつり参加
- 8月7日／納涼コンサート
- 8月25日／夕涼みコンサート
- 9月2~3日／リレーフォーライフinえひめ参加
- 9月23日／歌とギターで心と体をリフレッシュ!
- 10月22日／健康フェスティバル2017
- 11月第3週／ブルーライトアップうわじま
- 12月中旬~1月初旬／院内イルミネーション
- 3月10日／難病啓発講演会&コンサート



食欲低下に負けないさっぱりレシピ

鶏中華そば ごま風味



〈材料 1人分〉	
中華麺	100 g
鶏肉(皮なし)	50 g
練りごま	小さじ4
みりん	小さじ1
酢	小さじ1
一味唐辛子	少々
だし汁	大さじ1
めんつゆ	小さじ1
ごま油	小さじ1/2
オイスターソース	小さじ1/3
トマト	30 g
レタス	20 g
青じそ	1枚
ごま	少々
きざみ海苔	少々
だし昆布	5 g

【1人分の栄養量】	
エネルギー	:371kcal
たんぱく質	:20.6g
塩分	:1.3g
①	だし昆布を水に漬けておく
②	鶏肉を①で茹でる。酒を少々入れ、煮立つたらアツを取る。
③	②を食べやすい大きさに切り、合わせておいたaで和える。
④	中華麺を熱湯でほどよいかたさに茹で、冷水にとって水気をきる。(氷水でも可)
⑤	bを麺全体にからめる。
⑥	レタスを食べやすい大きさに切り、器に盛る。⑤の上に③を盛り、くし切りにしたトマトを盛る。最後に青じそとごまときざみ海苔をのせる。

平成29年8・9月糖尿病教室予定表

日 程	演 題	担 当 医 師	医療スタッフの講義	担当部署
8月 4日(金)	糖尿病と骨粗鬆症	整形外科永原寛之先生	見直してみませんか?あなたの検査値	臨床検査科
8月18日(金)	自分の糖尿病を把握しよう	研修医の先生	糖尿病に薬(ヤク)だつ話	薬 局
8月25日(金)	最近の話題	内科宮内省蔵先生	糖尿病食は健康食	食 養 科
9月 1日(金)	糖尿病の余病を見落とさないために	研修医の先生	合併症が出てしまった時の食事	食 養 科
9月 8日(金)	糖尿病のことを知ろう	内科宮崎万純先生	共に学ぼう、糖尿病	看 護 部
9月15日(金)	糖尿病と医療連携	地域連携室豊田MSW	お散歩から始めましょう	リハビリ

■ 時間:午後2時から3時まで

■ 場所:北棟(2階) 講堂

※日程、講義内容は変更になることもあります。

※血糖値測定(無料)は毎回行います。(午後1時30分頃から午後2時まで)

▼詳しくは、食養科までお尋ね下さい。

問い合わせ先 0895-25-1111(内線20010)
市立宇和島病院 食養科

【糖尿病患者会(パール会)】

開催時間:午後3時から3時30分まで

8月25日の担当:食養科

9月15日の担当:看護部

※糖尿病療養指導士のスタッフが担当いたします。

発行/市立宇和島病院広報委員会

住所/〒798-8510 宇和島市御殿町1-1

TEL/0895-25-1111 FAX/0895-25-5334